



MEH-P510

MD/チューナーメインユニット

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

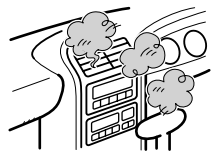
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください 2

- 絵表示について
- 安全上のご注意

はじめに

各部のなまえ 6

- 本体
- 別売のリモコン「CD-R660」

バッテリー上がりを防ぐために 8

バッテリーを交換するときは 8

ガイド表示について 8

50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について 9

長時間録音されたMDの
再生について 9

MDグループディスク
再生について 9

本機の基本操作

本機の基本操作 10

内蔵MDでMDを聞く

内蔵MDの基本操作 12

モードの切り換えかた 14

- ファンクションモードの切り換え

同じ曲やグループを繰り返し聞く . . 15

いつもと違う曲順で聞く 16

聞きたい曲やグループをさがす 17

MD再生を一時停止する 18

MDのタイトルを表示させる 19

ラジオを聞く

ラジオの基本操作 20

複数の放送局を

自動的に登録する 22

放送局を1局ずつ登録する 23

登録した放送局を呼び出す 24

- 登録した放送局を直接呼び出すとき
- 登録した放送局を順番に呼び出すとき

放送局名を選ぶ 24

マルチCDでCDを聞く

マルチCDの基本操作 26

モードの切り換えかた 28

- ファンクションモードの切り換え
- 詳細設定モードの切り換え

同じ曲やCDを繰り返し聞く 29

いつもと違う曲順で聞く 30

聞きたい曲やCDをさがす 30

聞きたい曲だけ指定しておく 32

指定した曲だけ再生する 33

指定した曲を
1曲ずつ解除する 33

指定した曲を
CDごとで解除する 34

CDのタイトルを入力する 35

CDのタイトルを表示させる 37

「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる 38

- 表示切り換え
- 隠れている文字を表示する

タイトルを見て
聞きたいCDをさがす . . . 39

CD再生を一時停止する 40

CDの音質を調節する 41

音を調節する

お好みの音の空間に設定する	42
イコライザーカーブを補正する	43
イコライザーカーブを選ぶ	44
モードの切り換えかた	44
●オーディオ調節モードの切り換え	
●オーディオ詳細設定モードの切り換え	
前後左右の音量	
バランスを調節する	46
お好みに合わせてイコライザー	
カーブを調節する	47
イコライザーカーブを	
細かく調節する	48
低音と高音を調節する	50
●低音・高音レベルの調節	
●調節する低音周波数の選択	
●調節する高音周波数の選択	
小音量時の音に	
メリハリをつける	52
サブウーファーを使う	53
外部アンプなどでサブウーファーを	
調節する	55
低い音をスピーカーから出力	
させないようにする	56
各ソースの音量の	
違いをそろえる	57

その他の機能

瞬時に音量を小さくする	58
時計を表示させる	58
よく使う機能を直接操作する	59
●内蔵MD、マルチCDのとき	
●ラジオのとき	
●テレビのとき	
交通情報を受信する	60
初期設定モードの切り換えかた	60
時計を合わせる	61
外部機器の音声を聞く	62
外部機器の名称を入力する	63
RCA外部出力から	
出力される信号を選ぶ	64
ミュート機能について	65

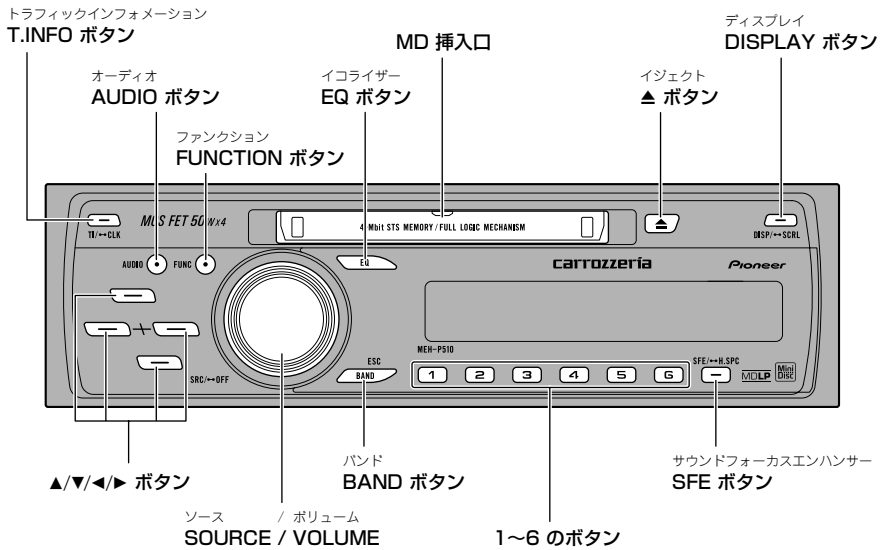
付録

MDの正しい使いかた	66
●使用できるMDについて	
●取り扱い上のご注意	
●ラベルについて	
●保管上のご注意	
●お手入れについて	
●寒いときの結露について	
故障かな？と思ったら	68
●共通項目	
●ラジオ	
●MD	
こんなメッセージが	
表示されたら	70
保証書とアフターサービス	71
おもな仕様	72

はじめに

各部のなまえ

■ 本体



■ 別売のリモコン「CD-R660」

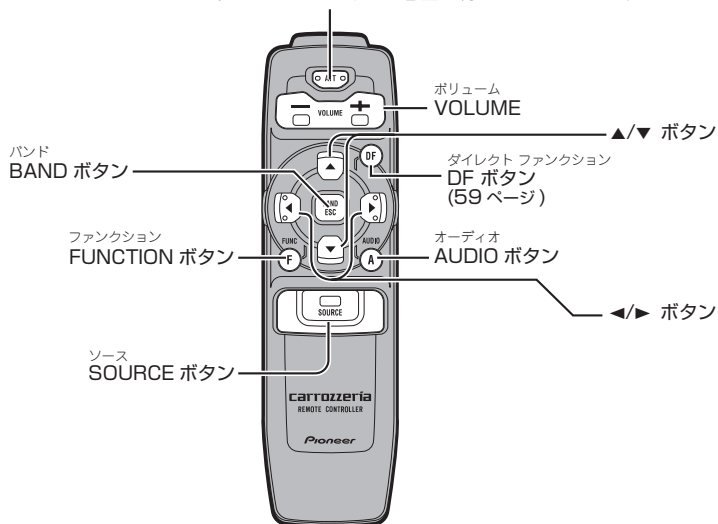
- 別売のリモコン「CD-R660」で、本機を操作できます。
- リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。

アッテネーター

ATT ボタン (58 ページ)

押すごとにアッテネーターが ON/OFF します。

アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。



DF ボタンについて

- ・ DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ登録されている機能を直接操作できます。内蔵 MD・マルチ CD でポーズ、ラジオで BSM、テレビで BSSM を操作できます。(59 ページ)



メモ

- ・ 別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR100」(以下、ステアリングリモコン)でも本機を操作できます。ただし、一部の機能はステアリングリモコンでは操作できないことがあります。
- ・ ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機を使用するときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で長時間、車のイグニッションスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

バッテリーを交換するときは

車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。

本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。この場合、ラジオのプリセットメモリーは23ページ、時計の調整は61ページを参照して、設定しなおしてください。

オーディオ調整については、再設定に時間がかかるため、設定内容をメモしておくことをおすすめします。再設定の方法は、それぞれのページを参照してください。

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例

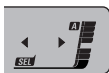
内容



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。



▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。また、FUNCTIONボタンで機能を切り換えることができます。



◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。また、AUDIOボタンで機能を切り換えることができます。

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機に、50枚型マルチCDプレーヤーを接続できます。ただし、本機では、50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能は操作できません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能だけです。また、タイトルリストモードには切り換わりません。

長時間録音されたMDの再生について

本機は、MDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生できます。



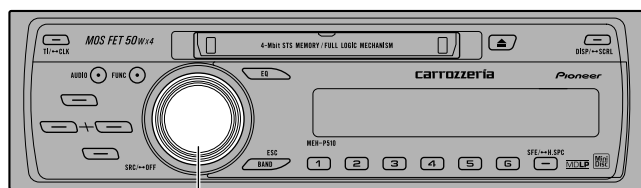
MDLPについて

- ・ MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来より長時間（2倍、4倍の時間）録音できる圧縮方式です。

MDグループディスク再生について

本機は、MDグループ機能の再生に対応しています。MDに収録されている曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を再生している場合、グループ名を表示したり、お好みのグループだけを再生したりすることができます。

本機の基本操作



ソース / ボリューム
SOURCE / VOLUME

本機の基本操作

電源 ON/ソース選択/音量調節/電源 OFF

ここだけの操作で、本機を使用できます。

1 SOURCE/VOLUME を押して、電源を入れる

本機の電源が ON になります。

- MD を MD 挿入口に差し込んだときも、電源が ON になります。(12 ページ)



2 SOURCE/VOLUME を押して、ソース (音源) を切り換える

押すごとに、次のようにソースが切り換わります。

1 枚型 CD (別売) → テレビ (別売) → ラジオ (FM/AM) → 内蔵 MD → マルチ CD (別売) → External (エクスターナルユニット) (別売) → AUX (外部機器) (別売) → 1 枚型 CD に戻る



3 SOURCE/VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき
左回し：小さくするとき



0~62 の範囲で調節できます。
約 4 秒間、音量が表示されます。

4 SOURCE/VOLUMEを1秒以上押し、電源を切る

電源がOFFになります。

テレビ、1枚型CD、マルチMDを接続したときは

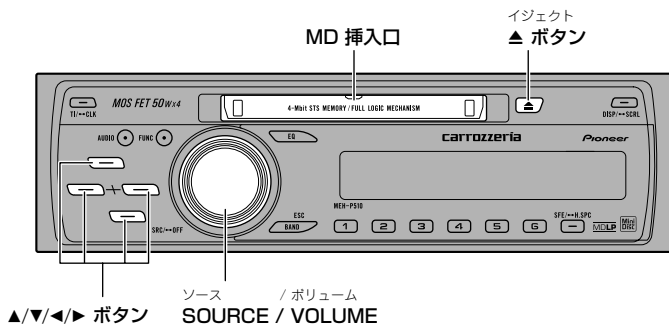
操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- ・ テレビ (例: 「AVX-P7」など)、1枚型CD (例: 「CDS-P555」) の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。
- ・ 本機は、マルチMD (例: 「MD-P100II」) をエクスターナルユニットとして操作できません。操作のしかたは、マルチMDの取扱説明書の「メインユニット③」を参照してください。

メモ

- ・ 接続していないソースには切り換わりません。
- ・ MDやCDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ・ 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- ・ External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機でExternal (エクスターナルユニット) としてコントロールできる製品は1台だけです。
- ・ AUX (外部機器) の設定 (62ページ) をONにしないと、AUXには切り換わりません。

内蔵MDでMDを聞く



内蔵MDの基本操作

MD セット/選曲/早送り・早戻し/MD イジェクト

ここだけの操作で、MDを聞くことができます。

1 MDのラベル面を上にして、 MD 挿入口に差し込む

MDの再生が始まります。

- MDのシャッターが開まっていることを確認してから差し込んでください。
- MDを挿入すると、本機はMDから曲数などの情報を読みとります。この間、“TOC Read”と表示します。

矢印の向きに差し込みます。



📌 ご注意

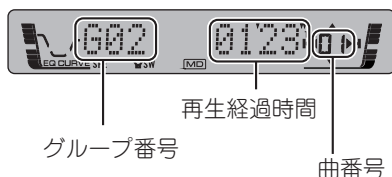
- ・ MD 挿入口には、MD 以外の物を絶対に入れないでください。故障の原因となります。

📝 メモ

- ・ MD をセットしたときや、他のソースから内蔵MDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルや曲名を自動的に1回スクロール表示します。

2 ▲または▼ボタンを押して、 聞きたいグループを選ぶ (グループディスクの場合)

- ▲：次のグループを選ぶとき
- ▼：前のグループを選ぶとき



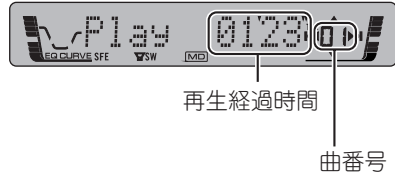
3 ◀または▶ ボタンを押して、 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

- 曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。



4 SOURCE/VOLUME を回して、 音量を調節する

- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき

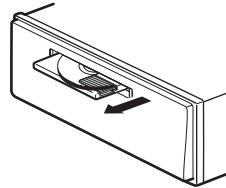


0~62の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 ▲ ボタンを押して、 MDを取り出す

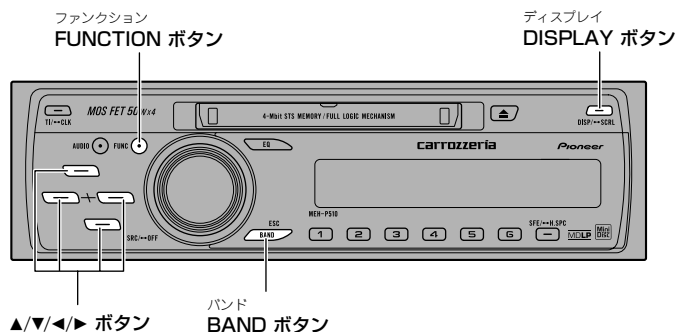
MDが出てきます。

- 出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。



メモ

- ・ MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやマルチCDなど) に切り換えることもできます。(10ページ)
- ・ MDを挿入すると、本機はMDからファイル形式などの情報を読みとります。この間、“TOC Read”と表示します。
- ・ TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの「音声信号以外の情報」のことです。



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

■ ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、 ファンクションモードを切り換える



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生範囲切り換えモード (15 ページ) → ランダムモード (16 ページ)
→ スキャンモード (17 ページ) → ポーズモード (18 ページ)
リピートモードに戻る

メモ

- ・ BAND ボタンを押すと、ファンクションモードが解除されます。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲やグループを繰り返し聞く

再生範囲切り換え

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。グループディスクの場合、今聞いている曲や1つのグループを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

- 再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
グループリピート	再生中のグループを繰り返し再生します。(グループディスクのみ)
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。 (通常は、このモードにしておきます。)

1 FUNCTION ボタンを押して、再生範囲切り換えモードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- TRK (トラックリピート)
- GRP (グループリピート)
- DSC (ディスクリピート)
- TRKに戻る



トラックリピートのときは、“RPT”、グループリピートのときは、“G RPT”が表示されます。

3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違う曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

- 1 再生範囲切り換えモードにして、再生範囲を選ぶ（15 ページ）

選んだ再生範囲内で、ランダム再生が行われます。

- 2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 3 ▲ ボタンを押して、ランダム再生を ON にする

次の曲から、ランダムに再生します。

▼ ボタンで OFF になります。



- 4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ランダム再生中に表示されます。



メモ

- ・トラックリピートのとときに、ランダム再生を ON にすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

聞きたい曲やグループをさがす

スキャン再生

曲の初めの部分だけを、約10秒ずつ再生します。グループディスクの場合、今聞いているグループの全ての曲の初めの部分だけを、約10秒ずつ再生します。また、全てのグループの1曲目の初めの部分だけを、約10秒ずつ再生することもできます。聞きたいグループや曲をさがすときに便利です。

1 再生範囲切り換えモードにして、再生範囲を選ぶ (15ページ)

選んだ再生範囲内で、スキャン再生が行われます。

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

再生範囲をグループリピートに切り換える

再生中のグループの全曲を、約10秒ずつ再生します。

■ 聞きたいグループをさがすとき (グループスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換える

すべてのグループの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。



2 FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、スキャン再生をONにする

曲の初めの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

- 4** 聞きたい曲 (グループ) が再生されたら、
▼ ボタンを押して、スキャン再生を OFF にする



- ファンクションモードが解除されていたら、手順 1 の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を OFF にしてください。

- 5** BAND ボタンを押して、
ファンクションモードを解除する



メモ

- ・ スキャン再生を始めた曲 (グループ) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピートのときに、スキャン再生を ON にすると、再生範囲がグループリピートに切り換わり、スキャン再生します。

MD 再生を一時停止する

ポーズ

MD 再生を一時停止できます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、
ポーズモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ポーズを ON にする
MD 再生が一時停止します。
▼ ボタンで OFF になります。



- 3** BAND ボタンを押して、
ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

MDのタイトルを表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

再生経過時間の表示以外に、ディスク名やグループ名、曲名を表示させることができます。

ディスク名やグループ名、曲名は一度に10文字表示できます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

メモ

- 表示をDisc Title (ディスク名)、GroupTitle (グループ名)またはTrackTitle (曲名)に切り換えたときに、隠れているタイトルを自動的に1回スクロール表示します。
- 本機のMD文字表示は、英数字にだけ対応しています。
- タイトルが入力されていないMDで表示を切り換えると、“No Data”と表示します。
- 本機では、MDの録音方式にかかわらず、曲名の先頭の「LP:」を表示しません。(長時間録音された曲名の先頭には、「LP:」があらかじめ入力されている場合があります。)

表示切り換え

1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 再生経過時間表示
- Disc Title (ディスク名)
 - GroupTitle (グループ名)
 - TrackTitle (曲名)
 - 再生経過時間表示に戻る



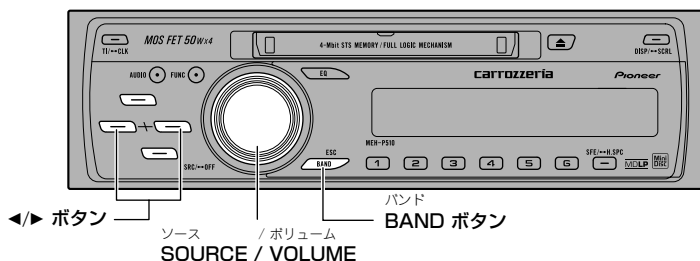
隠れているタイトルを表示する

1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルを表示する



隠れている文字が順番に表示されていきます。

ラジオを聞く



ラジオの基本操作

バンド切り換え/選局/音量調節

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 SOURCE/VOLUME を押して、 ソースをラジオにする

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 BAND ボタンを押して、 バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1 に戻る

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。(22、23ページ)

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を登録できます。
例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSM (22ページ)を使うと、バンド1に登録した放送局はそのまま使いになれます。



FM1 → FM2 → AM1 → AM2

3 ◀または▶ ボタンを押して、放送局を選ぶ

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



周波数表示

選局方法の使い分け

手動選局 (1 ステップずつ)	0.5 秒未満
自動選局	0.5 秒以上

- 0.5 秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

4 SOURCE/VOLUME を回して、音量を調節する

- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき

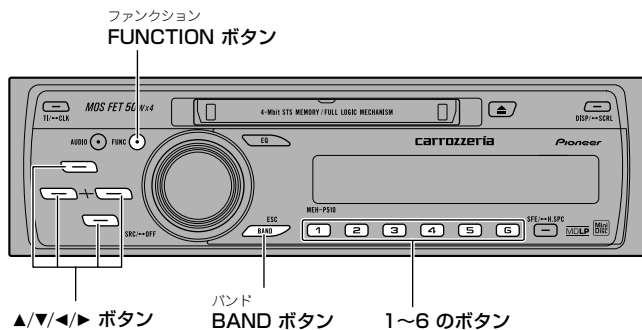


- 0~62 の範囲で調節できます。
- 約 4 秒間、音量が表示されます。

5 他のソースに切り換えるか、電源を OFF にして、ラジオの受信をやめる (10 ページ)

メモ

- ・ 本機には、放送局名があらかじめ登録されています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更できます。放送局名を変更するには、「放送局名を選ぶ (24 ページ)」をご覧ください。



複数の放送局を自動的に登録する

BSM

受信状態の良い放送局を探して、1~6のボタンに自動的に登録できます。

1 BAND ボタンを押して、
登録するバンドを選ぶ (20 ページ)

2 FUNCTION ボタンを押して、
BSM モードにする



3 ▲ ボタンを押して、BSM を始める
BSM が終わると点滅が止まり、1 のボタンに
登録した放送局を受信します。



登録動作中に点滅します。

4 BAND ボタンを押して、
BSM モードを解除する



受信中の登録番号
受信中の周波数表示

メモ

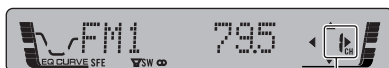
- ・ 受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の登録内容が残ることがあります。
- ・ BSMとは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。
- ・ 登録した放送局を呼び出すには「登録した放送局を呼び出す (24 ページ)」をご覧ください。
- ・ 約30秒間何も操作しないと、BSMモードは自動的に解除されます。

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で登録できます。

- 1 BAND ボタンを押して、
登録するバンドを選ぶ (20 ページ)
- 2 ◀または▶ ボタンを押して、
登録したい放送局を選ぶ (21 ページ)
- 3 1～6のボタンの1つを2秒以上押して、
登録する



押したボタンの番号（登録番号）
が点滅します。

メモ

- ・登録した放送局を呼び出すには「登録した放送局を呼び出す (24 ページ)」をご覧ください。

登録した放送局を呼び出す

プリセットチューニング

登録した放送局は、簡単に呼び出すことができます。

■ 登録した放送局を直接呼び出すとき

- 1 BAND ボタンを押して、
登録したバンドを選ぶ (20 ページ)

- 2 1～6のボタンの1つを押して、
登録した放送局を直接呼び出す



受信中の登録番号

■ 登録した放送局を順番に呼び出すとき

- 1 BAND ボタンを押して、
登録したバンドを選ぶ (20 ページ)

- 2 ▲または▼ボタンを押して、
登録した放送局を順に呼び出す

- ▲ : 次の登録番号の放送局を呼び出すとき
- ▼ : 前の登録番号の放送局を呼び出すとき



受信中の登録番号

放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

⚙️ 放送局名について

- ・ 同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は異なることがあります。表示されている放送局名が受信している放送局名と異なる場合、放送局名を変更できます。

🚫 ご注意

- ・ 本機に登録されていない放送局名は選べません。

1 実際の放送局名と表示が異なる場合、FUNCTION ボタンを2秒以上押し、放送局名選択モードにする

- 現在受信している周波数の放送局名だけを変更できます。別の周波数の放送局名を変更したい場合、その周波数を受信して(21ページ)から放送局名選択モードにしてください。



2 ◀または▶ ボタンを押して、放送局名を選ぶ

- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

3 ▲ ボタンを押して、放送局名を変更する

選んだ放送局名に変更されます。



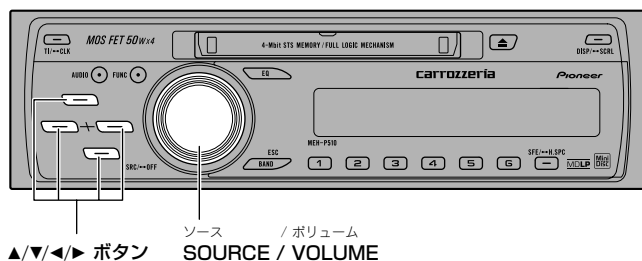
4 BAND ボタンを押して、放送局名選択モードを解除する

DISPLAY ボタンを押すと、周波数表示と放送局表示を切り換えることができます。

メモ

- ・ 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA” と表示されます。
- ・ 放送局名を表示させたくないときは、“_____” (全て空白) を選んでください。
- ・ パイオニア製のFM モジュレータータイプのマルチ CD をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD” に変更して表示できます。
- ・ パイオニア製のTV をFM モジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM TVsound” に変更して表示できます。

マルチ CD で CD を聞く



マルチ CD の基本操作

ディスク選択/選曲/早送り・早戻し

ここだけの操作で、マルチ CD プレーヤーで CD を聞くことができます。

1 SOURCE/VOLUME を押して、ソースをマルチ CD にする



- 「CD TEXT」に対応しているマルチ CD プレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしているときは、他のソースからマルチ CD に切り換えたときに、ディスクタイトルおよびトラックタイトルを自動的に 1 回スクロール表示します。

2 ▲または▼ボタンを押して、聞きたい CD を選ぶ



- ▲ : 次の CD を選ぶとき
- ▼ : 前の CD を選ぶとき
- 1～6 ボタンを押して、聞きたい CD を選ぶこともできます。1～6 のボタンを 2 秒以上押すと、7～12 枚目の CD を選ぶことができます。

CD 番号

3 ◀または▶ ボタンを押して、 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）で「CD TEXT」を再生しているときは、曲を選んだときに、トラックタイトルを自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。



4 SOURCE/VOLUMEを回して、 音量を調節する

- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき

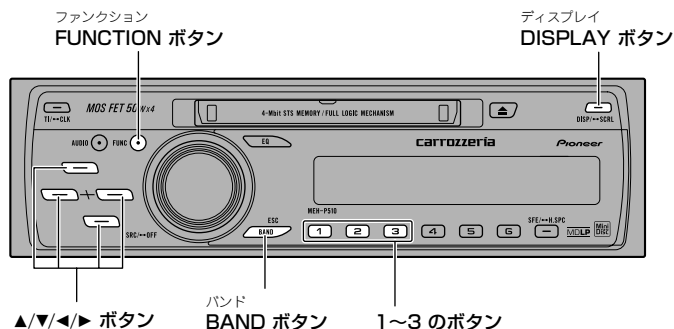


- 0~62の範囲で調節できます。
- 約4秒間、音量が表示されます。

5 他のソースに切り換えるか、 電源をOFFにして、マルチCDの 再生をやめる (10ページ)

メモ

- ・ マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。
- ・ マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAG」が表示されます。
- ・ 「CD TEXT」については「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる（38ページ）をご覧ください。



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

■ ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、 ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生範囲切り換えモード (29 ページ) → タイトルリストモード (39 ページ)
→ ランダムモード (30 ページ) → スキャンモード (30 ページ)
→ ITS 再生モード (33 ページ) → ポーズモード (40 ページ)
→ COMP 切り換えモード (41 ページ) → リピートモードに戻る



メモ

- ・ BAND ボタンを押すと、ファンクションモードが解除されます。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

■ 詳細設定モードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード (35 ページ) → ITS 指定モード (32 ページ)
→ タイトル入力モードに戻る

メモ

- ・ BAND ボタンを押すと、詳細設定モードが解除されます。
- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

同じ曲やCDを繰り返し聞く

再生範囲切り換え

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

- ・ 再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のディスクを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。 (通常は、このモードにしておきます。)

1 FUNCTION ボタンを押して、再生範囲切り換えモードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- TRK (トラックリピート)
- DSC (ディスクリピート)
- MCD (マルチCDリピート)
- TRKに戻る



トラックリピートやディスクリピートのとき「RPT」が表示されます。

3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

曲を順不同(ランダム)に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

- 1 再生範囲切り換えモードにして、再生範囲を選ぶ(29ページ)
選んだ再生範囲内で、ランダム再生が行われます。

- 2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 3 ▲ ボタンを押して、ランダム再生をONにする
次の曲から、ランダムに再生されます。
▼ ボタンでOFFになります。



- 4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ランダム再生中に表示されます。

メモ

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

聞きたい曲やCDをさがす

スキャン再生

今聞いているCDの、曲の初めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に再生します。また、すべてのCDの、1曲目の初めの部分だけを約10秒ずつ再生することもできます。聞きたい曲やCDをさがすときに便利です。

- 1 再生範囲切り換えモードにして、再生範囲を選ぶ(29ページ)
選んだ再生範囲内で、スキャン再生が行われます。

■ 聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、
ディスクリピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生します。



■ 聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、
マルチCDリピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。



2 FUNCTION ボタンを押して、
スキャンモードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、スキャン再生をONにする

曲の初めの約10秒間が次々に再生されます。

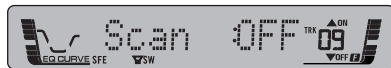
- スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら、
スキャンモードにしてから、▼ ボタンを押して、
スキャン再生をOFFにする

- ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。



5 BAND ボタンを押して、
ファンクションモードを解除する

✎ メモ

- ・ スキャン再生を始めた曲 (または CD) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、スキャン再生します。

聞きたい曲だけ指定しておく

ITS 指定

指定した曲だけ再生する（33 ページ）ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに指定しておきます。



ITS について

- ・ ITSとは、「Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション)」の略です。ITSは、聞きたい曲だけを指定しておき、それを再生する機能です。



メモ

- ・ 曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの指定内容は消えません。
- ・ CD1枚につき99曲まで指定することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、指定できる曲が24曲までになります。)
- ・ ITSは、タイトル(35ページ)と合わせてCD100枚分の指定ができます。
- ・ 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの指定内容が解除されて、新しいCDが指定されます。

1 ▲または▼ボタンを押して、
指定したい曲を収録したCDを再生する
(26 ページ)

2 FUNCTION ボタンを2秒以上押してから
FUNCTION ボタンを押して、
ITS 指定モードを選ぶ



3 ◀または▶ボタンを押して、
指定したい曲を選ぶ (27 ページ)

4 ▲ボタンを押して、指定する



約2秒間表示され、指定したことを
知らせます。

5 BAND ボタンを押して、
詳細設定モードを解除する

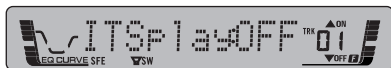
指定した曲だけ再生する

ITS 再生

「ITS 指定」で指定した曲だけを再生することができます。

- 再生範囲切り換えモードにして、再生範囲を選ぶ (29 ページ)
選んだ再生範囲内で、ITS 再生が行われます。

- FUNCTION ボタンを押して、ITS 再生モードを選ぶ



- ▲ ボタンを押して、ITS 再生を ON にする
ITS 再生が始まり、指定した曲だけが再生されます。
▼ ボタンで OFF になります。



- BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ITS 再生中に表示されます。

メモ

- 手順 1 で選んだ再生範囲内に、指定した曲がない場合は、「ITS EMPTY」が約 2 秒間表示されて、ITS 再生は行われません。

指定した曲を 1 曲ずつ解除する

ITS 解除 (1 曲ごと)

指定した曲を 1 曲ずつ解除できます。

- ITS 再生を ON にする
- ◀ または ▶ ボタンを押して、指定を解除したい曲を再生する (27 ページ)

次ページへつづく

- 3** FUNCTION ボタンを2秒以上押してから
FUNCTION ボタンを押して、
ITS 指定モードを選ぶ



- 4** ▼ ボタンを押して、解除する
再生していた曲が指定解除され、次に指定さ
れている曲が再生されます。



次に指定されている曲

- 5** BAND ボタンを押して、
詳細設定モードを解除する

 メモ

- 現在の再生範囲内に指定した曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

指定した曲をCDごとに解除する

ITS 解除 (CDごと)

指定した曲をCDごとに解除できます。

- 1** ▲ または ▼ ボタンを押して、
指定を解除したいCDを再生する
(26ページ)
ITS再生がONになっているときは、ITS再生
をOFFにしてください。(33ページ)

- 2** FUNCTION ボタンを2秒以上押してから
FUNCTION ボタンを押して、
ITS 指定モードを選ぶ



- 3** ▼ ボタンを押して、解除する



約2秒間表示され、解除したことを
知らせます。

- 4** BAND ボタンを押して、
詳細設定モードを解除する

CDのタイトルを入力する

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる（37ページ）ために、あらかじめタイトルを入力しておきます。

⚙️ タイトル入力について

- ・タイトル入力は、CDのタイトルを入力しておき、ディスプレイに表示させる機能です。
- ・CDのタイトルを入力すると、タイトルリスト（39ページ）で聞きたいCDをさがすこともできます。「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト（39ページ）をすることができます。

✎ メモ

- ・タイトルは10文字まで入力できます。
- ・入力したタイトルの登録はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの内容は消えません。
- ・タイトルは、ITS（32ページ）と合わせてCD100枚分の登録ができます。
- ・100枚を超えたときは、いちばん古いCDの入力内容が消されて、新しいCDが登録されます。

1 ▲または▼ボタンを押して、 タイトルを入力したいCDを再生する (26ページ)

2 FUNCTION ボタンを2秒以上押して、 タイトル入力モードを選ぶ

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。（「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。）

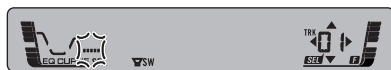


3 タイトルを入力する

■ 入力する位置を選ぶ

◀または▶ボタンを押して、
入力したい位置にカーソルを移動させる

- ▶：右に移動させるとき
- ◀：左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。
10文字まで入力できます。

■ 入力する文字を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押して、
入力したい文字を選ぶ

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A~Z)、数字 (0~9)、記号 (! " # など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0~9)、記号 (! " # など)、空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア~ン)、音引き (ー)、空白 (_) 拗促音、濁点、半濁点 (アイウエオヤユヨツ* °)、空白 (_)

4 入力が終わったら、▶ ボタンを押して
10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 ▶ ボタンを押して、
入力したタイトルを登録する

入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが登録されます。



6 BAND ボタンを押して、
詳細設定モードを解除する

✎ メモ

- ・ タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは登録されません。)
- ・ 「CD TEXT」については「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる (38ページ) をご覧ください。

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力（35ページ）で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 DISPLAY ボタンを押して、 表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 再生経過時間表示
- Disc Title (ディスク名)
- 再生経過時間表示に戻る



メモ

- ・ タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO DSC TTL”が表示されます。

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）で「CD TEXT」を再生しているときに、ディスク名、歌手名などを表示させることができます。一度に10文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

📌 ご注意

- ・「CD TEXT」に対応しているマルチCD（「CDX-P670」など）の機能です。

⚙️ 「CD TEXT」について

- ・「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）
本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字にだけ対応しています。



■ 表示切り換え

1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 再生経過時間表示
- Disc Title (ディスク名)
- D.Artist (歌手名)
- TrackTitle (曲名)
- Tr.Artist (歌手名)
- 再生経過時間表示に戻る



■ 隠れている文字を表示する

1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルを表示する



隠れている文字が順番に表示されていきます。

📝 メモ

- ・トラックアーティストネーム（歌手名）などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO NAME”などが表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

- 1** FUNCTION ボタンを押して、
タイトルリストモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、
聞きたいCDを選ぶ

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



登録されているタイトルが表示されます。
また、そのCDのCD番号が点滅します。

- 3** ▲ ボタンを押して、選んだCDを再生する
選んだCDが再生されます。



- 4** BAND ボタンを押して、
ファンクションモードを解除する



メモ

- ・ タイトルが入力されていないCDでタイトルリストを行うと、CD番号だけが表示されます。(タイトルは何も表示されません。)

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止できます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、ポーズをONにする

CD再生が一時停止します。

▼ ボタンでOFFになります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

CDの音質を調節する

COMP/DBE

CDの音質を調節するために、COMPとDBEの2つの機能があります。COMPはクラシックなど音量差の大きい音楽を聞いているときに、DBEは低音域が不足している曲を聞いているときに使用すると効果的です。

📌 ご注意

- ・COMP/DBEに対応しているマルチCDの機能です。

💡 COMPについて

- ・COMPとは、「Compression (コンプレッション)」の略です。COMPは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

💡 DBEについて

- ・DBEとは、「Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス)」の略です。DBEは、低音域を押し上げる機能です。この機能は、音楽の低音域が不足していると感じたときにお使いになると便利です。

1 FUNCTION ボタンを押して、COMP 切り換えモードを選ぶ

現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。



- COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示され、操作ができません。

2 ▲または▼ボタンを押して、機能を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- COMP OFF → COMP 1 → COMP 2
- COMP OFF → DBE 1 → DBE 2
- 最初のCOMP OFFに戻る



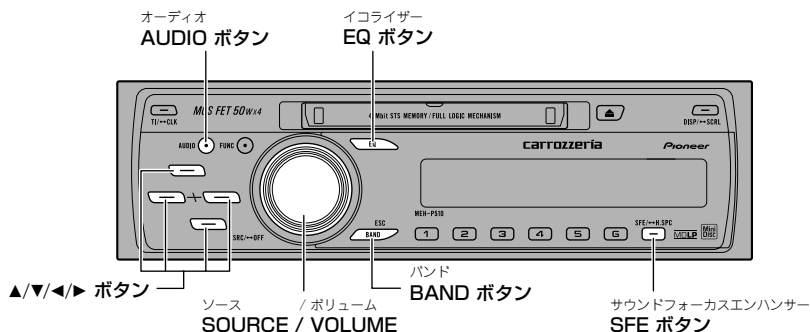
現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

📝 メモ

- ・COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

音を調節する



好みの音の空間に設定する

SFE

ボーカルや楽器などの音像を明確にし、自然で心地よい音の空間を手軽に演出できます。さらに乗車位置を選択することで、より好みにあった設定にすることができます。

⚙️ SFEについて

- ・ FRT1 は、フロント出力の高音域と、リア出力の低音域を押し上げます。FRT2 は、フロント出力の高音域・低音域と、リア出力の低音域を押し上げます。（低音域の押し上げは、フロント/リア共通です。）

1 SFE ボタンを2秒以上押し、SFEモードに切り換える

ボタンを2秒以上押しすごとに、SFEモードとハーモニクスパイスモードが切り換わります。



SFEモードのときに点灯します。

2 SFE ボタンを押し、SFEモードを切り換える

ボタンを押しすごとに次のように切り換わります。

- FRT1-Hi (High) → FRT1-Low (Low)
- FRT2-Hi (High) → FRT2-Low (Low)
- Custom → SFE OFF → FRT1-Hiに戻る



3 ◀または▶ ボタンを押して、乗車位置を切り換える

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



L (左)、C (中央)、R (右) の中から選ぶことができます。

メモ

- ・ SFEとは「Sound Focus Enhancer (サウンドフォーカスエンハンサー)」の略です。
- ・ FRT1、FRT2ともに、“Lo”より“Hi”の方が効果が大きくなります。
- ・ “Custom”には、低音、高音をお好みに合わせて調節したSFEモードが登録されません。(50ページ)

イコライザーカーブを補正する

ハーモニックスパイス

ハーモニックスパイスは、イコライザーカーブごとに低音と高音を補正する機能です。また、“Custom”カーブを選んでいる場合、ソースごとに“Custom”カーブの低音と高音を調節することができます。

1 SFE ボタンを2秒以上押して、ハーモニックスパイスモードに切り換える

ボタンを2秒以上押すごとに、SFEモードとハーモニックスパイスモードが切り換わります。



ハーモニックスパイスモードのときに点灯します。

2 SFE ボタンを押して、ハーモニックスパイスをONにする

ハーモニックスパイスがONになります。もう一度押すと、OFFになります。



イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

イコライザーカーブについて

- ・それぞれのイコライザーカーブの効果は、次のとおりです。
 - ・ Super Bass : 低音が厚みを持ち、迫力ある重低音が響きます。
 - ・ Powerful : 低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
 - ・ Natural : 自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
 - ・ Vocal : 中高域が厚みを持ち、伸びやかなヴォーカルを際立たせます。
 - ・ Flat : 音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときに使用してください。
 - ・ Custom : お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。内蔵 CD とマルチ CD および External は同じ設定になります。

1 EQ ボタンを押して、 イコライザーカーブを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Powerful → Natural → Vocal → Custom
→ EQ Flat → Super Bass
→ Powerful に戻る



メモ

- ・ 交通情報 (60 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。RCA 外部出力の設定 (64 ページ) により、モードの切り換わり方が変わります。

■オーディオ調節モードの切り換え

RCA 外部出力がサブウーファー出力 “P/O :SubW” のとき

1 AUDIO ボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- 音量バランス調節モード (46 ページ) → イコライザー調節モード (47 ページ)
- 低音・高音レベル調節モード (50 ページ) → ラウドネスモード (52 ページ)
- サブウーファーモード*¹ (53 ページ) → サブウーファー調節モード*¹ (53 ページ)
- ハイパスフィルターモード (56 ページ) → SLA モード*² (57 ページ)
- 音量バランス調節モードに戻る

メモ

- ・ BAND ボタンを押すと、オーディオ調節モードが解除されます。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- *¹ サブウーファーモード (53 ページ) を OFF にした場合は、サブウーファー調節モードには切り換わりません。
- *² ラジオの FM を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

RCA 外部出力がノンフェーディング出力 “P/O :Full” のとき

1 AUDIO ボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- 音量バランス調節モード (46 ページ) → イコライザー調節モード (47 ページ)
- 低音・高音レベル調節モード (50 ページ) → ラウドネスモード (52 ページ)
- ノンフェーディングモード*¹ (55 ページ)
- ノンフェーディング調節モード*¹ (55 ページ) → ハイパスフィルターモード (56 ページ)
- SLA モード*² (57 ページ) → 音量バランス調節モードに戻る

メモ

- ・ BAND ボタンを押すと、オーディオ調節モードが解除されます。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- *¹ ノンフェーディングモード (55 ページ) を OFF にした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。
- *² ラジオの FM を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

■ オーディオ詳細設定モードの切り換え

- 1 AUDIO ボタンを2秒以上押して、
オーディオ詳細設定モードにする



- 2 AUDIO ボタンを押して、
オーディオ詳細設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



EQローバンド調節モード (48 ページ) → EQミッドバンド調節モード (48 ページ)
→ EQハイバンド調節モード (48 ページ) → 低音周波数選択モード*¹ (51 ページ)
→ 高音周波数選択モード*¹ (51 ページ) → EQローバンド調節モードに戻る

メモ

・ BAND ボタンを押すと、オーディオ詳細設定モードが解除されます。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

*¹ ハーモニクスパイスモードを選んでいるときだけ、低音周波数選択モードと高音周波数選択モードに切り換わります。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1 AUDIO ボタンを押して、
音量バランス調節モードを選ぶ



- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、
前後の音量バランスを調節する

- ▲ : 前を強めるとき
- ▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスは F 15~R 15 の範囲で調節できます。

3 ◀または▶ ボタンを押して、 左右の音量バランスを調節する

- ▶ : 右を強めるとき
- ◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL9 ~ R9 の範囲で調節できます。

4 BAND ボタンを押して、 オーディオ調節モードを解除する

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 EQ ボタンを押して、 イコライザーカーブを切り換える (44 ページ)



2 AUDIO ボタンを押して、 イコライザー調節モードにする



3 調節したいバンドを選んで レベルを調節する

■ バンドを選ぶ

- ◀または▶ ボタンを押して、バンドを選ぶ

■ レベルを調節する

- ▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

- ▲ : 強めるとき
- ▼ : 弱めるとき



Low (低音域)、Mid (中音域)、High (高音域)の中から選ぶことができます。

4 BAND ボタンを押して、 オーディオ調節モードを解除する



-6 ~ +6 の範囲で調節できます。

メモ

- ・ イコライザーカーブを調節すると、“Custom” に登録されます。
- ・ 交通情報 (60 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節できます。

- 1 EQ ボタンを押して、調節したいイコライザーカーブを選ぶ (44 ページ)

- 2 AUDIO ボタンを2秒以上押して、オーディオ詳細設定モードにする



- 3 バンドを選んで、中心周波数とQファクターを調節する

■ バンドを選ぶ

AUDIO ボタンを押して、調節したいバンドを選ぶ



ボタンを押すごとに、次のようにオーディオ詳細設定モードが切り換わります。

EQ ローバンド調節モード → EQ ミッドバンド調節モード → EQ ハイバンド調節モード
 → 低音周波数選択モード (51 ページ)
 → 高音周波数選択モード (51 ページ)
 → EQ ローバンド調節モードに戻る

表示 (中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	EQ ローバンド
200、500、1k、2kのいずれか	EQ ミッドバンド
3k、8k、10k、12kのいずれか	EQ ハイバンド

■ 中心周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、中心周波数を選ぶ



選んだ周波数が表示されます。

■ Qファクターを選ぶ

▲または▼ ボタンを押して、選んだバンドのQファクター (イコライザーカーブの傾き) を選ぶ



2N、1N、1W、2Wの中から選べます。

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき

● Qファクター (イコライザーカーブの傾き) は、2Nが最も急な傾きになり、1N、1W、2Wの順で傾きが緩やかになります。

4 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

メモ

- ・ イコライザーカーブを調節すると、“Custom” に登録されます。
- ・ 交通情報 (60 ページ) を受信しているときは、オーディオ詳細設定モードを操作することはできません。

低音と高音を調節する

バス/トレブル

低音・高音のカットオフ周波数とレベルを調節できます。

📌 ご注意

- ・ハーモニクスバイスモード (43ページ) を選んでいる場合、ハーモニクスバイスがONで“Custom”カーブを選んでいるときだけ、低音・高音の調節を行うことができます。
- ・SFE (42ページ) がFRT1の場合、低音調節はリア出力だけに効果があります。
- ・SFE (42ページ) がFRT1またはFRT2の場合、高音調節はフロント出力だけに効果があります。

■ 低音・高音レベルの調節

1 AUDIO ボタンを押して、 低音・高音レベル調節モードを選ぶ



2 バンドを選んでレベルを調節する

■ バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、バンドを選ぶ

- ▶ : 高音を選ぶとき
- ◀ : 低音を選ぶとき



周波数は2k、4k、6k、10k (Hz) の中から選ぶことができます。

■ レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、
レベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



レベルは-6~+6の範囲で調節
できます。

3 BAND ボタンを押して、 オーディオ調節モードを解除する

📝 メモ

- ・ハーモニクスバイスモード (43ページ) を選んでいる場合、ハーモニクスバイスがONで“Custom”カーブを選んでいるときだけ、低音・高音レベル調節モードに切り換わります。
- ・SFE (42ページ) がFRT1の場合、フロント出力の低音を調節することはできません。
- ・SFE (42ページ) がFRT1またはFRT2の場合、リア出力の高音を調節することはできません。

■ 調節する低音周波数の選択

- 1 AUDIO ボタンを2秒以上押してから AUDIO ボタンを押して、低音周波数選択モードを選ぶ



- 2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は、40、63、100、160 (Hz) の中から選ぶことができます。

- 3 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

✎ メモ

- ・ ハーモニクスパイスモード (43 ページ) を選んでいる場合、ハーモニクスパイスがONで“Custom”カーブを選んでいるときだけ、低音周波数選択モードに切り換わります。

■ 調節する高音周波数の選択

- 1 AUDIO ボタンを2秒以上押してから AUDIO ボタンを押して、高音周波数選択モードを選ぶ



- 2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は2k、4k、6k、10k (Hz) の中から選ぶことができます。

- 3 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

✎ メモ

- ・ ハーモニクスパイスモード (43 ページ) を選んでいる場合、ハーモニクスパイスがONで“Custom”カーブを選んでいるときだけ、高音周波数選択モードに切り換わります。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ラウドネスモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ラウドネスを ON にする
▼ ボタンで OFF になります。



ラウドネスが ON の時に表示されます。

- 3** ◀または▶ ボタンを押して、ラウドネスの効果を選ぶ
▶ : 効果を大きくするとき
◀ : 効果を小さくするとき



LOW (弱)、MID (中)、HI (強) の中から選ぶことができます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節ができます。
(この機能は初期設定でONになっています。)

⚙️ 位相切り換えについて

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

⚙️ カットオフ周波数について

- 50、80、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 AUDIO ボタンを押して、サブウーファーモードを選ぶ



2 ▲ ボタンを押して、サブウーファーをONにする

- ▼ ボタンでOFFになります。



3 ◀ または ▶ ボタンを押して、位相を切り換える

- ▶ : NOR (正相) を選ぶとき
- ◀ : REV (逆相) を選ぶとき



4 AUDIO ボタンを押して、サブウーファー調節モードを選ぶ



次ページへつづく

5 カットオフ周波数とレベルを調節する

■ 周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50Hz、80Hz、125Hzの中から
選ぶことができます。

■ レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、
レベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



−6~+6の範囲で調節できます。

6 BAND ボタンを押して、 オーディオ調節モードを解除する

✎ メモ

- ・ RCA 外部出力の設定 (64 ページ) をノンフェーディングにした場合は、サブウーファ어의調節はできません。
- ・ サブウーファー機能を OFF にした場合は、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルター（サブウーファー）を通さずに、原音のまま RCA 出力から音声信号を出力できます。また、その出力レベルの調節もできます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、
ノンフェーディングモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、
ノンフェーディングを ON にする
▼ ボタンで OFF になります。



- 3** AUDIO ボタンを押して、
ノンフェーディング調節モードを選ぶ



- 4** ▲ または ▼ ボタンを押して、
レベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



− 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

- 5** BAND ボタンを押して、
オーディオ調節モードを解除する

メモ

- ・ RCA 外部出力の設定（64 ページ）をサブウーファーにした場合は、ノンフェーディングの調節はできません。
- ・ ノンフェーディングを OFF にした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されます。

ハイパスフィルター (HPF) について

- ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数について

- 50、80、125 (Hz) から選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

1 AUDIO ボタンを押して、 ハイパスフィルターモードを選ぶ



2 ▲ ボタンを押して、 ハイパスフィルターをONにする ▼ ボタンでOFFになります。



3 ◀または▶ ボタンを押して、 カットオフ周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。



50、80、125 (Hz) の中から選べます。

4 BAND ボタンを押して、 オーディオ調節モードを解除する

メモ

- SFE モードに切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。SFE モードとハイパスフィルターを組み合わせで設定するときは、SFE モードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 SOURCE/VOLUME を押して、
FMを受信し、FMの音量を確かめる
(20ページ)

2 SOURCE/VOLUME を押して、
調節したいソースに切り換える
(10ページ)

3 AUDIO ボタンを押して、
SLAモードを選ぶ



4 ▲または▼ ボタンを押して、
レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



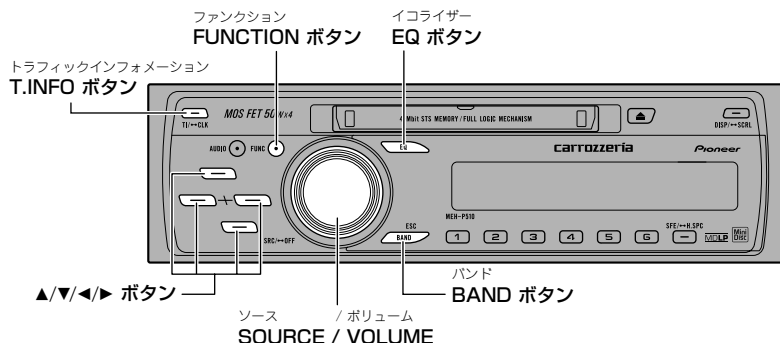
−4～+4の範囲で調節できます。

5 BAND ボタンを押して、
オーディオ調節モードを解除する

メモ

- ・ SLAとは「Source Level Adjuster (ソース レベル アジャスター)」の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。
- ・ AM、テレビ、MD、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器)のそれぞれの音量差を調節できます。なお、1枚型CDとマルチCD、およびAMと交通情報 (60ページ) は同じ設定になります。

その他の機能



瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 リモコンのATT ボタンを押す (7ページ)

ボタンを押すごとに ON/OFF します。

アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。



アッテネーターが ON のときに点滅します。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源の ON/OFF にかかわらず、時計を表示させることができます。

1 T.INFO ボタンを 2 秒以上押して、

時計を表示する

ボタンを 2 秒以上押すごとに ON/OFF します。



時計表示

メモ

- ・ 本体の電源が ON の場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約 25 秒後にもとの表示に戻ります。
- ・ 時計を合わせるには「時計を合わせる (61 ページ)」をご覧ください。

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作できます。

■内蔵MD、マルチCDのとき

- 1 リモコンのDFボタンを押して、ポーズをONにする(7ページ)

再生が一時停止します。(18、40ページ)

もう一度押すと、OFFになります。

■ラジオのとき

- 1 リモコンのDFボタンを2秒以上押して、BSMを始める(7ページ)

BSMが始まります。(22ページ)

- BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

■テレビのとき

- 1 リモコンのDFボタンを2秒以上押して、BSSMを始める(7ページ)

BSSMが始まります。(テレビの取扱説明書)

- BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1 620 kHzまたは1 629 kHzの交通情報を、簡単に受信できます。

- 1** T.INFO ボタンを押して、
交通情報を受信する

AM 1 620 kHzの交通情報を受信します。



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、
周波数を切り換える

▶ : 1 629 kHzにするととき

◀ : 1 620 kHzにするととき



受信周波数

- 3** T.INFO ボタンを押して、
交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。



メモ

- ・ この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- ・ 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。
- ・ 交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。
- ・ 交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

初期設定モードの切り換えかた

外部機器や時計の設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

- 1** SOURCE/VOLUME を1秒以上押して、
電源をOFFにする

- 2** 電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを
2秒以上押して、初期設定モードにする

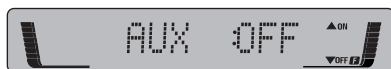
初期設定モードに切り換わります。



3 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 時計調節モード
- AUX (外部機器) モード (62 ページ)
- RCA 外部出力モード (64 ページ)
- 時計調節モードに戻る

**メモ**

- ・ BAND ボタンを押すと、初期設定モードが解除されます。(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押して、時計調節モードを選ぶ**2** 時計の設定をする

■ 時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、
時または分を選ぶ

押すごとに、時または分が切り換わります。



■ 時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押して、時刻を合わせる

▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を戻すとき

- 時または分を調節すると、0 秒からカウントが始まります。

**3** BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

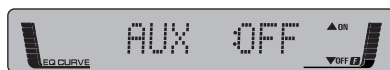
本機にポータブル機器やVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。



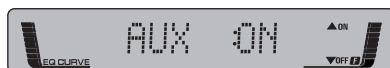
外部機器との接続について

- 別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるポータブル機器やVTRを、外部機器として本機に接続できます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、AUX (外部機器) モードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、AUXをONにする
▼ ボタンでOFFになります。



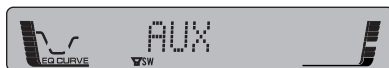
- 3** SOURCE/VOLUMEを押して、ソースをAUXに切り換える (10ページ)
ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



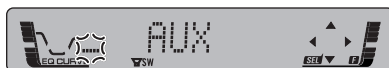
外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力できます。

- 1 SOURCE/VOLUME を押して、ソースを AUX に切り換える (10 ページ)



- 2 FUNCTION ボタンを2秒以上押して、外部機器の名称入力モードにする



- 3 外部機器の名称を入力し、登録する

CD タイトル入力 (35 ページ) の手順 3~6 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を登録してください。

- “AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

例) “VTR” を入力した場合



RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続してサブウーファーを使用する場合、本機でサブウーファーを調節するか、外部アンプでサブウーファーを調節するために原音のまま出力するかを選ぶことができます。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、RCA外部出力モードを選ぶ



- 2** ◀または▶ボタンを押して、出力方法を設定する

- ▶ : (Full) 原音のまま出力するとき (フルレンジ出力)
- ◀ : (SubW) 本機でサブウーファーを調節するとき (サブウーファー出力)



- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

メモ

- ・ 出力方法を“Full”に設定したときは、ノンフェーディングの設定 (55ページ) を行ってください。
- ・ 出力方法を“SubW”に設定したときは、サブウーファーの設定 (53ページ) を行ってください。

ミュート機能について

ミュート

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートすることができます。



ミュート機能について

- ・ ミュート機能のあるパイオニア製ナビゲーションシステムと本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”です。ミュート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

付録

MDの正しい使いかた

■使用できるMDについて

- 下記マークの付いているMD（ミニディスク）をご使用ください。



- 音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

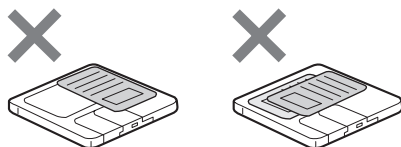
■取り扱い上のご注意

- MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

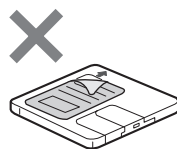


■ラベルについて

- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

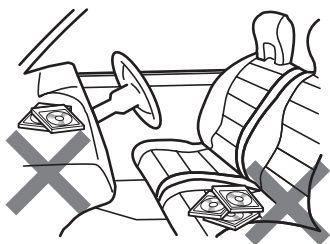


- ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



■ 保管上のご注意

- MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



■ 寒いときの結露について

- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

■ お手入れについて

- MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



- MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と 思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



チェックしても 直らないときは

「保証書とアフターサービス」(71ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。(「取付説明書」参照)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を調節してください。(10、13、21、27ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。(58ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(46ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(46ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(46ページ)

■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。(21ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。(21ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(21ページ)

■ MD

症状	原因	処置
MDの再生中、大きな雑音が出る。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDにくもりや水滴が付いている。	MDを交換してください。
	録音されていないMDを挿入した。	MDを交換してください。
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(12ページ)

こんなメッセージが表示されたら

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「No Data」	ディスク名が入力されていないMDを再生中にディスク名表示に切り換えたとき。	ディスク名表示以外の表示に切り換えてください。(19ページ)
	曲名が入力されていない曲を再生中に曲名表示に切り換えたとき。	曲名表示以外の表示に切り換えてください。(19ページ)
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「ERROR-11」 「ERROR-12」	MDが汚れているとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-17」 「ERROR-30」	MDにキズやひびがあるとき。	
「ERROR-20」 「ERROR-21」	振動などが原因で曲の情報を読みとれなかったとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	
「ERROR-22」 「ERROR-24」	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR-01」 「ERROR-11」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR-12」 「ERROR-17」		
「ERROR-30」 「ERROR-A0」		
「ERROR-A1」		
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生しないとき。	他のMDと交換してください。
「BLANK MD」	何も録音されていないMDを挿入したとき。	他のMDと交換してください。



TOCについて

- ・ TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

おもな仕様

■ MD プレーヤー部

形式	: ミニディスクデジタル オーディオシステム
使用ディスク	: ミニディスク
信号	フォーマット: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20 000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック	レンジ: 92 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

■ FM チューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 8 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、 モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB	感度: 10 dBf (0.9 μ V/75 Ω 、モノラル)
S/N	: 75 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	: 0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ) 0.1 % (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性	: 30 ~ 15 000 Hz (± 3 dB)
ステレオ	
セパレーション	: 45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

■ AM チューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1 629 kHz (9 kHz)
実用感度	: 18 μ V (S/N : 20 dB)
S/N	: 65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ アンプ・オーディオ部

最大出力	: 50 W × 4
定格出力	: 22 W × 4 (50 ~ 15 000 Hz、5 % THD)
負荷	インピーダンス: 4 Ω (4 ~ 8 Ω 使用可能)
プリアウト	最大出力レベル: 2.2 V
出力	インピーダンス: 1 k Ω
イコライザー	(3バンド
パラメトリック	イコライザー): (LOW)
	周波数: 40/80/100/160 Hz Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15 (+6 dB ブースト時) 調整幅: ± 12 dB (MID)
	周波数: 200/500/1K/2K Hz Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15 (+6 dB ブースト時) 調整幅: ± 12 dB (HIGH)
	周波数: 3.15K/8K/10K/12.5K Hz Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15 (+6 dB ブースト時) 調整幅: ± 12 dB
ラウドネス	
	コンター: LOW : 3.5 dB (100 Hz) 3 dB (10 kHz)
	MID : 10 dB (100 Hz) 6.5 dB (10 kHz)
	HIGH : 11 dB (100 Hz) 11 dB (10 kHz) (ボリューム: -30 dB)
トーン	
	コントロール: (バス)
	周波数 : 40/63/100/160 Hz
	ゲイン : ± 12 dB (トレブル)
	周波数 : 2.5K/4K/6.3K/10K Hz
	ゲイン : ± 12 dB

ハイパス

フィルター：周波数 : 50 Hz/80 Hz/125 Hz
スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力：周波数 : 50/80/125 Hz
スロープ : - 18 dB/oct.
ゲイン : ± 12 dB
位相 : NORMAL/REVERSE

■ 共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式 : マイナスアース方式

最大消費電流 : 10.0 A

外形寸法

(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm

(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm

質量 : 1.1 kg (コードユニット含まず)

■ 付属品

コードユニット : 1

取付ネジ類 : 1 式

取扱説明書 : 1

取付説明書 : 1

安全上のご注意 : 1

保証書 : 1

ご相談窓口・

修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

**メモ**

- ・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
 なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81028** ユー・パイオニア 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html>

※修理受付および進捗状況確認など（インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります）

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

© パイオニア株式会社 2005

< KSNZX > < 05A00000 > < YRA5029-A/U >